よくわかる公共事業

令和5年度

県道綿貫篠塚線（下新田2期工区）歩道整備事業

政策3 多様な移動手段の確保

施策３：歩行者・自転車の安全な移動空間の整備

事業概要

■所在地：玉村町下新田
■路線名： 一般県道　綿貫篠塚線
■事業内容： 全体延長　500m
道路幅　9.5m
歩道幅　1.5m
■全体事業費：約２億円
■事業期間：令和４年度～令和９年度（６年間）
■現在の交通量：6,690台/日（自動車）
：　131人/12時間（歩行者）
：　82台/12時間（自転車）

事業位置

どのような目的を達成するための事業か

・歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

歩道を整備します

地元の声

・中央小学校の通学路であるが、歩道の段差が大きく危険であるため、安全に歩けるよう歩道をつくってもらいたい。（地元住民）

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
交通事故件数	5.8件/年（事業前５年間平均）	０件

実施前

◆歩行者と自動車を分離する構造物などが無く、歩道が波打つ構造であったため、歩行者が危険な状態となっています。

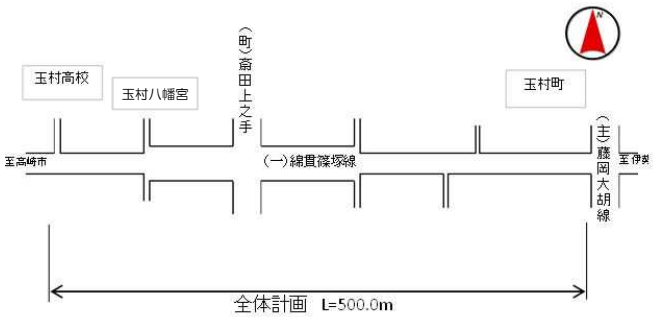
実施前の状況

実施後

◆歩車を分離するブロックを設置するとともに、歩道が平坦となり、歩行者が安全に通行できるようにします。

整備後の状況イメージ

事業の進捗状況（R5年３月現在）



今、何をしているか

令和５年度は用地測量、用地調査、用地買収を実施します。

事業のすすみ具合

事業開始 ●――――●――――●――――● 事業完了